

## 「歯科衛生士の予防をレベルアップ – Giomerへの期待–」

武田歯科医院 歯科衛生士



池田 育代 (いけだ いくよ)

1997年 大阪府歯科医師会付属歯科衛生士専門学校卒  
1998年 貞光歯科医院勤務  
2015年 武田歯科医院勤務 現在に至る

日本顎咬合学会認定指導歯科衛生士  
日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士  
大阪 SJCD DH コース インストラクター

2017年の厚生労働省による歯科実態調査において4才～8才未満で齲蝕を持つ者の割合は40%前後と報告されており、そこには私たち歯科衛生士の努力も少なからず反映されているのではないかと思います。

しかし、成人歯列が完成するまでには長期にわたる予防が必要で乳歯列期から始まり混合歯列期と幼若永久歯を保護するための予防を継続しても、実際の臨床においては予防効果があまり認められないといった経験もあるのではないかと思います。

そのような中、近年歯科材料に予防的機能を持たせたバイオアクティブ製品（S-PRG フィラーを含有した歯科材料：Giomer）が開発・発売され、その臨床への応用が進んでいます。この製品群は6種類のマルチイオンを放出することによって、口腔内の酸中和能、プラーク付着抑制能やエナメル質脱灰抑制能など多くの予防的機能を発現することが特徴であり、それらのエビデンスも多くの学会で報告されています。

今回は、その S-PRG フィラー含有製品：Giomer の臨床における使用方法を今秋発売予定の歯科衛生士が使用可能な新製品情報も踏まえて具体的に紹介したいと思います。今までの予防効果をレベルアップするための一つのツールとして、また付加価値の高い予防方法「スマートプリベンション」を実現する方法として、明日からの臨床の参考になれば幸いです。